
名探偵コナン ---黒組織の正体---

shinji

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

名探偵コナン 一一一黒組織の正体一一一

【Nコード】

N5699C

【作者名】

shinji

【あらすじ】

コナンは灰原から一枚のメモリーカードを預かる。そこに、黒組織に関するデータが！？黒の組織もだんだん動きはじめた。そして、
、、！？

FILE 1..真実のメモリーカード

俺の名前は江戸川コナン。

本当は工藤新一。

黒の組織に毒薬を飲まされ、目が覚めたら、、
体が縮んでしまっていた。

(マンガ名探偵コナン第一巻参照)

灰原がある日突然、コナンにメモリーカードを渡した。

「この中に彼らの情報が入ってるわ。」

コナンは驚いた。

「なんで今頃渡すんだよ！前か、、」

「しっ！」

阿笠博士の方を気にしながらこう言った。

「この中に、組織の手がかりになる物があるのよ。APT X 4869 (アポトキシン 4869) のデータは入ってないけどね。」

「ああ？どういう事だ？」

また灰原は博士を気にしながら

「とにかく、これを見て。私にはできないわ。これは彼らの全てよ。」

コナンは血の毛が引いた。

「まっ、まさかお前。そのカードを盗ったから奴らに??」

「そうね。彼らが必死になって私を探し、、」

灰原の話は止まった。

「おい、どうした!？」

灰原は顔を青くして言った。

「くっ、工藤君。近くに奴らが来てる！」

「何んだと!??どの辺りだ?!!!!」

その時!

「新一君！奴らだ！」

博士が叫んだ！！

コナンが窓に目をやった。

すでに外にはポルシェ356Aが止まっていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5699c/>

名探偵コナン ---黒組織の正体---

2010年10月17日04時36分発行